

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(315)(HP 収載) —ブレハッチによるショパンのマズルカ集—

1. 始めに

前報(314)に引き続き、STAGE+のブレハッチによるショパンのマズルカ集の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(314)に引き続き、ブレハッチによるショパンのマズルカ集を選びました。

ショパン：マズルカ集

演奏：

ラファウ・ブレハッチ (ピアノ)

曲目：

マズルカ 第1番 嬰ヘ短調 作品6の1
マズルカ 第2番 嬉ハ短調 作品6の2
マズルカ 第3番 ホ長調 作品6の3
マズルカ 第4番 変ホ短調 作品6の4
マズルカ 第10番 変ロ長調 作品17の1
マズルカ 第11番 ホ短調 作品17の2
マズルカ 第12番 変イ長調 作品17の3
マズルカ 第13番 イ短調 作品17の4
マズルカ 第14番 ト短調 作品24の1
マズルカ 第15番 ハ長調 作品24の2
マズルカ 第16番 変イ長調 作品24の3
マズルカ 第17番 変ロ短調 作品24の4
マズルカ 第26番 嬉ハ短調 作品41の1
マズルカ 第27番 ホ短調 作品41の2
マズルカ 第28番 ロ長調 作品41の3
マズルカ 第29番 変イ長調 作品41の4
マズルカ 第30番 ト短調 作品50の1
マズルカ 第31番 変イ長調 作品50の2
マズルカ 第32番 嬉ハ短調 作品50の3
マズルカ 第33番 ロ長調 作品56の1

マズルカ 第34番 ハ長調 作品56の2
マズルカ 第35番 ハ短調 作品56の3
マズルカ 第39番 口長調 作品63の1
マズルカ 第40番 へ短調 作品63の2
マズルカ 第41番 嬰ハ短調 作品63の3



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、下記のとおり、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

2005 年の第 15 回ショパン国際ピアノコンクール優勝者である、ラファウ・ブレハッチによるショパンのマズルカ集の演奏です。

マズルカはポーランドのある地方の舞踊の曲が基になっており、次の三つの種類があ

るそうです。

- ・マズル (Mazur) : 中庸の速さで、快活なテンポの楽しい曲
 - ・オベルタス (Obertas/Oberek) : 非常に速く旋回する踊りで、急速なテンポが特徴
 - ・クヤビアク (Kujawiak) : ゆっくりとした動きで、強いリズムが少ないのが特徴
- ショパンのマズルカ集も上記のような成り立ちを反映してか、ゆったりとした憂愁の趣の曲や楽しく軽快な曲や激しく回り続けるような曲があります。
- ブレハッチはあるときは詩情を込めて、あるときは軽快に、そしてあるときは力強くと変幻に展開していきます。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、ブレハッチの演奏のマズルカ特徴を生かしたピアニズムを聴かせてくれました。

以上